

KING TURBO BLOWERS

キング ターボブローワ-

このカタログは古いため内容の一部は変更になっていたり訂正が必要な場合がございますので、目安程度にご覧ください。
詳細はお問い合わせください。

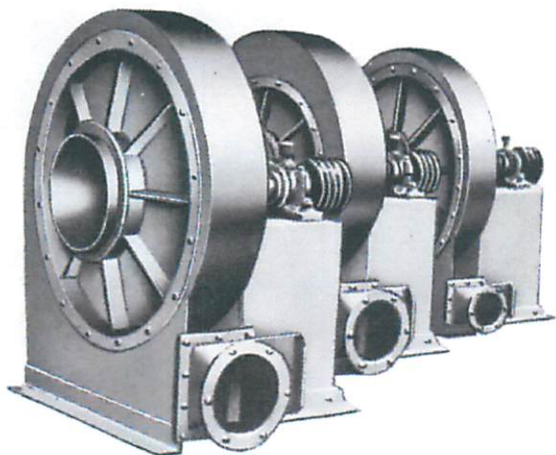
KING BLOWER

登録
商標

“キング”ターボブロワー “KING” TURBO BLOWERS

キングターボブロワーは、水柱700ミリから1000ミリ程度の静風圧を要求する様な所に使用されます。

遠心力送風機としては最高の風圧を出し得るものです。



その構造

1. 形式

鋼板製片吸込片持ちの形式をとっています。即ち吸込口は一つであるために排風、送風のどちらにも利用できます。又二つのベアリングケースの外側にそれぞれ翼車とプーリー（又はカップリング）がついていますからベアリングを取りはずすことなく翼車とプーリーを取り替えることができます。

2. ケーシング

通常は、一般構造用鋼板を完全に溶接し、高圧の風圧に耐えるような設計になっています。

高温ガス、有機ガス、灰分が通過する場合には、御要求にしたがいステンレスSUS 410又は304を使用したり、アルマー加工や焼付ライニングを施すこともできます。

3. 翼車

翼は流体力学に基いた最新の設計と技術により、きわめて美しい曲線を描いています。

すなわち、主板と外側板の間に後曲りの長い羽根が入念に鋳造又は溶接されていて、通常3600回転もの高速に耐えるようになっています。

4. バランシング

翼車組立後は、一個一個ダイナミック・バランシングマシンによって動的釣合試験を行い、機械的な震動や唸音の絶無を期しています。このため、ベアリング回りの耐久力は非常に増大しています。

5. 軸及び軸受

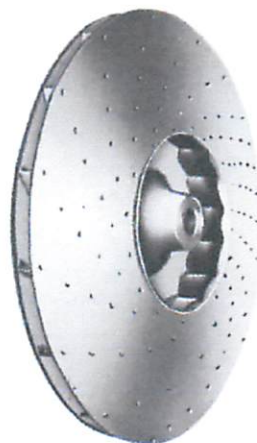
軸は機械構造用鋼を使用いたしますが、御注文によって、SUS 430又は304のステンレス鋼を用い、それに入念な精密機械仕上げを施しています。

軸受は、ボールベアリングを採用していますが、場合によってはファン側にローラーベアリングを装置することもできます。

通常は、自然空冷式ベアリングケースを使用していますが高温の場合には、強制空冷方式又は水冷式冷却軸受ボックスを使用します。

キングターボブロワーの用途

- | | |
|------------|---|
| 1. 重油燃焼用 | など高い風圧を要する所
油分を含まない空気を必とする所
公害対策用など多岐 |
| 2. 鉄鉄製造用 | |
| 3. 坩堝炉用 | |
| 4. 熱処理用 | |
| 5. 特殊合金炉用 | |
| 6. 攪拌用 | |
| 7. 有毒ガス処理用 | |



KING BLOWER

登録商標 “キング” ターボブローワー

性能表抄

型 号	口径ミリ	C.M.M.	S.P.	R.P.M.	KW.
TB-2	50	2	160	1800	0.75
		2	300	2400	0.75
		3	400	3000	1.5
		4	600	3600	1.5
TB-3	75	4	180	1800	1.5
		5	350	2400	1.5
		8	450	3000	2.2
		8	700	3600	3.7
TB-4	100	6	185	1800	1.5
		10	340	2400	2.2
		10	580	3000	3.7
		13	700	3600	3.7
TB-5	125	10	180	1800	2.2
		12	350	2400	2.2
		15	600	3000	3.7
		20	700	3600	5.5
TB-6	150	12	180	1800	3.7
		16	350	2400	5.5
		20	550	3000	5.5
		25	700	3600	7.5
TB-8	200	20	185	1800	5.5
		30	360	2400	7.5
		40	530	3000	7.5
		45	700	3600	11.0
TB-10	250	37	180	1800	7.5
		50	360	2400	11.0
		60	530	3000	15.0
		75	700	3600	18.5
TB-12	300	100	500	3250	18.5
		100	700	3340	22.0
		150	800	3600	37.0
TB-14	350	140	700	3250	37.0
		160	900	3600	60.0
JB-3	75	10	1000	3600	5.5
JB-4	100	15			7.5
JB-5	125	22			11.0
JB-6	150	30			15.0
JB-8	200	52			22.0
JB-10	250	77			30.0
JB-12	300	140			55.0
JB-14	350	170			65.0

CMM=風量毎分立方メートル
RPM=毎分回転数

SP=風圧水柱ミリ
KW=所要キロワット

※ 御照会の時には次の事項を必ず御通知下さい

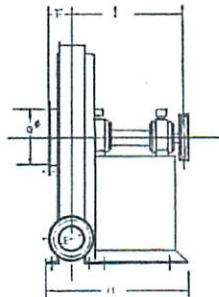
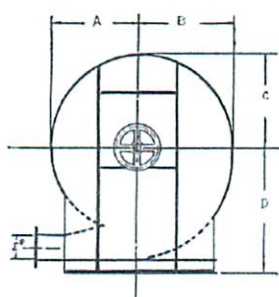
- (1) 用途……………バーナー用、鑄造用、攪拌用など
- (2) 所要風量……………もし計算がごめんどうならば、重油又は石炭1時間当りの消費量、或いは、炉の大きさなど詳しく御知らせ下されば、当社で計算いたします。
- (3) 風圧……………ガス体が通過する装置及び風管、接続管などの摩擦損失ですから、抵抗が大きければ、風圧を高くとらねばなりません。むやみに風圧を高く計算し、実際に運転した場合、計算より甚だしく低い抵抗しかなかった時には、風量が出すぎ、モートルのオーバーロードを起すおそれがありますから御注意下さい。
- (4) ガスの温度……………吸入ガスの温度(20℃)を常温とします。
- (5) ガスの種類……………吸入ガスの種類、濃度、比重など詳しくおしらせ下さい。
- (6) 向及回転方向……………回転方向は通常ブリー又はモートルを自分の方に向けて、時計回転か逆時計回転かに分けます。
- (7) ベルト掛か直結型か……………
 ベルト掛 { 平ベルト掛 直結 { カップリング直結
 Vベルト掛 差込直結
 以上の四種の内の御希望をおしらせ下さい。平ベルト掛は、殆んど使われていません。
- (8) 予定動力……………御使用モートルのKWを御通知願います。
- (9) ヘルツ及ボルテージ……………50ヘルツ地帯で御使用になるか、60ヘルツ地域で御使用になるか、単相か三相か、200Vか、400Vかという区別です。
- (10) モートル回転数……………特にカップリング直結(或いは差込直結)の場合には、モートルの回転数を必ず御明示下さい。

※ 小口径のもので、ガス管又は鋼管を接続される場合には、特に吐出口をソケット又はフランジ(Jis 5kg)形に致しますから、御注文の節にはその旨御通知下さい。但し吸込口には此の様なことは致しません。

KING BLOWER

登録商標 “キング” ターボブローア

概略寸法図



左は概略寸法です。
向きによって、或いは
御要求性能によって寸
法が変わりますから、
御照会下さい。

型 号	口 径 (ミリ)	A	B	C	D	E 寸	F	G 寸 (吸込口)	H	型 号	A+B	C+D	E 寸	G 寸	H
TB-2	50	295	320	305	370	50	58	200	386	JB-3	840	940	75	200	535
TB-3	75	315	340	325	395	75	68	200	461	JB-4	900	1030	100	220	600
TB-4	100	330	365	350	440	100	93	220	556	JB-5	920	1040	125	220	675
TB-5	125	335	370	355	440	125	98	220	556	JB-6	950	1070	150	230	730
TB-6	150	340	385	360	460	150	108	230	626	JB-8	960	1080	200	240	830
TB-8	200	345	390	365	460	200	143	240	736	JB-10	1020	1180	250	250	1009
TB-10	250	350	430	385	510	250	160	250	756	JB-12	1190	1390	300	300	1059
TB-12	300	410	495	450	605	300	200	300	830	JB-14	1410	1680	350	350	1159

キング ターボブローの特性

風圧曲線はや、中高形で、風量の少ない時に最大値を示し、風量の増加と共に急速に低くなってゆきます。この傾きが非常に大きいのと、効率最大値の吸込量と、所要動力最大の場合の吸込量とが甚だ近いという特徴から次の様な長所をもっています。

- (1) 風圧の推定に誤差があっても、希望風量に近い送風が行えます。
- (2) 運転の安定性が大きい。
- (3) 並列運転が容易に行える。
- (4) 原動機の容量をその極大値の点で定めれば絶対過負荷を起す心配がない。即ちリミットロードファンと言えるわけです。

中高の風圧曲線を示しますから、風量0の時の風圧に等しい風圧が右の方にもう一つあります。この時の風量よりも少ない風量の運転を行えば、いわゆる「サージング」(飛動)現象を起し、ブローア全体が急激に震動するのみならず、ガス体の吸入、吐出が断続的になり、充分その効果を出すことができませんから御注意下さい。

